

土木委員会委員協議会記録

1 会議の日時	令和2年1月24日	開会 午前 9 時 56分 閉会 午前 10 時 59分
2 会議の場所	土木委員会室	
3 出席者	委員	委員長 高 殿 尚 副委員長 水 野 吉 近 (藤 墳 守) 平 岩 正 光 野 島 征 夫 林 幸 広 平 野 恭 子 ( ) は欠席委員
	執行部	別紙配席図のとおり
4 事務局職員	課長補佐兼係長 青 木 陽 輔	主査 早 野 ひとみ

5 会議に付した案件

件名	審査の結果
1 建設人材の育成・確保と生産性の向上について	
2 その他	

## 6 議事録（要点筆記）

### ○高殿尚委員長

それでは、ただいまから土木委員会委員協議会を開会する。

本日の協議会は、委員会の所管事項の調査や施策の評価の充実を図るため開催した。議題は、お手元に配布した「次第」のとおりである。

なお、執行部職員の出席については、今回の議題を所管する所属を中心に出席いただいている。

それでは「建設人材の育成・確保と生産性の向上について」を議題とし、執行部の説明を求める。

（執行部挨拶：船坂都市建築部長）

（執行部説明：林技術検査課長）

（執行部説明：岩田公共建築課長）

### ○高殿 尚委員長

ただいまの説明に対して、質疑はないか。

### ○林 幸広委員

現状において、どの程度の建設人材が不足しているのか。

### ○林技術検査課長

一つの試算であるが、岐阜県の人口推計と建設業就業者の割合から算出すると、30年後には、現状の約8万人に対して約2万人減る結果となる。

### ○林 幸広委員

約10年前には12万人の建設業従事者がいたと聞いたことがあるが、今は8万人に対して人材が不足しているということか。

### ○林技術検査課長

そのとおり。

### ○林 幸広委員

工業高校の土木・建築学科の生徒が卒業後に建設業に携わる割合はどの程度か。

### ○林技術検査課長

岐阜労働局の調査によると、県内の高校の新卒者の平成31年3月時点における建設業の求人に対する就職者数は18%となっている。

### ○岩田公共建築課長

県内の建築系の工業高校生の進路は、約3割が県内の建築系に就職している。このほか約1割が県外の建築系に就職、約4割が進学、約2割が建築系以外の会社に就職している。

### ○林 幸広委員

先日、土木委員会の視察で青森へ行った際、昨年、青森県の高校の卒業生1万人のうち、建設業への就職が100人だったと聞いた。建設業は、何か対策をしないと、就業者の減少が続くと思われる。

### ○林技術検査課長

建設業と高校生をマッチングする交流サロンは、工業高校に加え、普通高校へも展開している。普通高校の生徒にも、建設業の魅力や必要性、労働環境改善等について周知し、就職先の候補として知ってもらえるよう取り組んでいる。

### ○平岩正光委員

建設業の担い手確保は大きな課題であると認識している。建設業は、災害やCSFへの対応等も含め基盤整備、長寿命化等に欠かせないので、人材確保を進めるうえで、今後も必要な予算を確保すると

もに、労務単価や積算の適正化、経営健全化を進めながら労働環境を改善するなど、総合的に取り組んでいく必要があると考えられるが、どのような対策を行うのか。

○林技術検査課長

予算関係でいえば、建設関係の予算は、近年、大規模な災害が発生していることから、国においても強靱化に関する予算を優先的に確保する動きになっている。その中で先ほど説明したような取組みを総合的に行うことにより、建設業を就職先として選んでいただけるよう取り組んでいる。特に建設業に就く若者が少ないので、若者をターゲットにした施策を進めている。先日の新聞に、高卒の初任給は建設業が一番高いという記事もあり、建設業界の状況も変化してきている。週休2日やICTを活用した工事など、通常の工事と比較して経費がかかるものについては、増額分を基準の中で適正に積算するようにしている。

○平岩正光委員

平成27年における建設業就業者数の29歳以下が平成12年と比べて68%も減少しているので、将来に希望を持てる職種として、継続して予算を確保していくことが課題であると認識している。山間部の多い岐阜県では建設業が重要な産業だと思うので、建設業の魅力を学生や親、先生などにPRするなど、総合的に対策をしてもらいたい。

○水野吉近副委員長

熱中症対策の経費補正について具体的に説明願いたい。

○林技術検査課長

最高気温が30℃を超える日数に応じて、現場管理費率に上乘せして計上している。例えば、体感温度を下げるミストシャワー装置や、ファンのついた作業着などを揃えるのに必要となる費用を率で計上している。

○水野吉近副委員長

現場の声として、夏場は職人の休憩時間が多くなるため、その他の時期に比べて作業効率が下がると聞いている。積算への反映を検討してほしい。

○林技術検査課長

県では国の積算基準を準用している。夏場の作業効率低下の反映については、国へ要望しているところであり、今後も継続して要望していく。

○水野吉近副委員長

県内の建設業関係、特に現場担当者に対する賃上げ、処遇改善がどのくらい図られているのかを把握するために、県内の建設業の賃金について調査してほしい。

○林技術検査課長

県では、実際に支払われている労務費を毎年調査し、積算に使用する設計労務単価に反映している。また、下請け業者に対しても支払いが適正になされているかを調査することが、新・担い手三法の中で位置づけられており、今後、取組みが強化されていくと認識している。

○水野吉近副委員長

生産性向上技術を導入するために経費が必要であるが、生産性を向上した分でカバーできるのか。

○岩田公共建築課長

ハードやソフトを購入するための初期投資は必要であるが、使いこなすための人材の確保が難しいとの意見がある。県としては操作研修・導入研修を行い、導入を支援していきたい。

○水野吉近副委員長

生産性向上技術の導入は、初期投資にお金がかかるからではなく、人材が育たないから進まないとの認識でよいか。

○岩田公共建築課長

ご指摘のとおり。

○高殿 尚委員長

建築、電気、機械の専門分野ごとの就労者数の推移や不足数のデータはあるのか。

○岩田公共建築課長

専門分野ごとの不足数の統計データはなく、業種別の推移も把握できていない。

○高殿 尚委員長

高山工業高校が近隣小学校にモノづくりの出前講座を行っている。そのような活動を通して電気や機械の仕事があることを伝えている。中学3年生に出前講座を行っても、進路が概ね決まっており効果が少ない。小学生のうちに意識付ける事業を行うと効果的であると思われるので、意見として提案する。

○高殿 尚委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって「建設人材の育成・確保と生産性の向上について」の質疑を終了する。

次に、その他報告事項、「内ヶ谷ダムの小水力発電について」及び、「中京圏の高速道路料金の見直しについて」、執行部からの報告を求める。

(執行部説明：鈴木河川課長)

(執行部説明：藤井道路建設課長)

○高殿 尚委員長

ただいまの説明に対して、質疑はないか。

○野島征夫委員

内ヶ谷ダム小水力発電の協定締結について感謝申し上げます。ダムに関わらず公共事業においては、将来を見通して進めていただきたい。

○林 幸広委員

高速道路料金について具体的な料金はどのように決まるのか。

○藤井道路建設課長

現時点で具体的な料金は示されていないが、大都市近郊区間の料金体系を参考に決められると聞いている。

○林 幸広委員

今回の料金見直しの目的は何か。

○藤井道路建設課長

現在、均一料金区間や対距離料金区間があるため、料金体系の統一により高速道路を使いやすくすることが目的である。併せて、ネットワークが整備されることで、観光促進や一宮JCTなどの渋滞の解消などを目的に検討が進められている。

○林 幸広委員

関からセントレア中部国際空港へ行く際に高速道路を利用すると、名古屋市内の料金が高い。

○藤井道路建設課長

名古屋高速や名古屋第二環状などは均一料金であり、今回の料金見直しにより距離制になることで、短い区間ならその分安くなる。

○林 幸広委員

東海環状自動車道の関広見ICから山県IC間の開通日は決定したのか。

○藤井道路建設課長

具体的な日にちについては、決定していない。今年度中であることは変わらない。

○平野恭子委員

今回の料金見直しによる運送業者や企業などへの影響はどのように考えているか。

○藤井道路建設課長

トラック協会などからは、一般道路を利用した場合、渋滞により物が定時に届かない可能性があることや、働き方改革の観点から運転手の拘束時間が課題であるため、高速道路を利用したほうが良いと聞いている。また、料金体系の見直しにより渋滞解消などのメリットがあると考えている。

○高殿 尚委員長

質疑も尽きたようなので、その他報告事項については終了する。

本日の議題は終了したが、何か意見等はないか。

(発言する者なし)

○高殿 尚委員長

意見も尽きたようなので、これをもって、本日の委員協議会を閉会する。

# 土木委員会配席図

令和2年1月24日(金)

				小 建 設 業 企 画 監	小 原 建 設 技 術 企 画 監			
--	--	--	--	---------------------------------	---	--	--	--

林 企 画 監 流 域 下 水 道 経 営	酒 井 鉄 道 高 架 推 進 企 画 監	小 池 花 フ ェ ス タ 記 念 公 園 企 画 推 進 室 長	山 口 県 営 水 道 経 営 企 画 監	加 藤 幹 線 道 路 企 画 監	所 道 路 管 理 企 画 監	古 田 土 砂 災 害 対 策 監	戸 田 技 術 管 理 監	辻 技 術 総 括 監
---	---	---	---	---	--------------------------------------	---	---------------------------------	----------------------------

佐 々 木 空 家 対 策 推 進 室 長	伊 藤 住 宅 課 長	幸 畑 公 共 交 通 課 長 兼 リ ニ ア 推 進 室 長	岡 田 水 道 企 業 課 長	山 口 水 資 源 課 長	川 瀬 下 水 道 課 長	岩 田 公 共 建 築 課 長	林 技 術 検 査 課 長	於 久 田 用 地 課 長
---	----------------------------	--	--------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

川 嶋 建 築 指 導 課 長	小 野 都 市 整 備 課 長	金 武 都 市 公 園 課 長	水 野 都 市 政 策 課 長	杉 下 都 市 公 園 整 備 局 副 局 長	藤 井 道 路 建 設 課 長	飯 島 道 路 維 持 課 長	広 瀬 砂 防 課 長	鈴 木 河 川 課 長
--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--	--------------------------------------	--------------------------------------	----------------------------	----------------------------

篠 田 都 市 建 築 部 次 長 ( 技 術 )	山 口 都 市 建 築 部 次 長 ( 事 務 )	湯 澤 都 市 公 園 整 備 局 長	船 坂 都 市 建 築 部 長	宗 宮 県 土 整 備 部 長	松 田 県 土 整 備 部 次 長	大 野 県 土 整 備 部 土 木 技 監	野 崎 建 設 政 策 課 長
---	---	--	--------------------------------------	--------------------------------------	---	---	--------------------------------------

平野(恭)委員

野島委員

藤墳委員

○								
○								○
○								○
			○		○			

林委員

平岩委員

高殿委員長 水野(吉)副委員長

廊  
下  
側